

ほのぼの

ネットワーク通信 第14号

発行者
第4期同期会会長 新見 正康
平成28年2月15日発行



画 東江 順子

暦の上では春到来とは言えまだまだ寒い日々が続きますがいかがお過ごしでしょうか。

今回は2月の総会に向けた発行になりますが、目新しい記事はあまりありません。長年パソコンでご指導いただき、昨年会長になられた新見さん、どんな動きがあるか注目していましたが、何かの都合で今年は会長を辞められるそうです。残念ですね。機関紙の方も少し内容を変えて読みがいのある記事をと新しい試みをしています。なんと私が楽しんできた旅行記を長々と書いています。ご講読ください。もし感想があればメールでも送って下さると有難いのですが。

情報の共有が活動の基本

会長 新見 正康



暖冬予報通り暖かい新年を迎えたと思ったら突然の寒波襲来、水道管の凍結など皆さんの所は大丈夫でしたか？

ほのぼのネットワークは設立から6年の歳月を重ねてきました。会員の皆さんも自分の健康状態や家族などの境遇も変化し、以前のように積極的には関われないという方も多くなったように思われます。過去1年の行事を振り返ってみますと、昨年3月の総会兼お元気です会は19名の参加がありましたが、5月の全体総会は11名、萩バス旅行11名、食の祭典7名、すてきな仲間たち16名、由布院バス旅行6名、全体懇親会8名という状況でした。一度も参加していない人は9名、退会者が2名有りました。寂しいですね。

今年度の同窓会の目標は「会員相互の情報の共有と支援」とされていました。皆さん、繁松さんが配信してくれている同窓会メールは読んでいますか？ 忙しかったり、PCの不調で長らくメールを開いていない、といった声を聞くこともあります。しかし現在、同窓会の役員間や各期との情報交換は原則としてすべてメールで行われています。各種行事の予告や連絡など、大切な情報はメールで送られてきますので、メールは定期的にチェックするよう習慣づけていただきたいと思います。情報の共有は活動の基本です。

私こと、都合により27年度限りで会長を辞任しますが、広報委員は引き続き務めることとし、皆さまのPCに関する問題解決のお手伝いはさせていただくつもりですので、どうぞ遠慮なくお申し出ください。また、メールアドレスを変更された時は速やかに連絡してください。



書 江崎 弘子

秋のほのぼののバスハイク

平成27年11月21日(土)

ほのぼの観光のバスハイクも、もう3回目となりました。日田の豆田町から由布院と小京都めぐり。由布院では金鱗湖そばの有名な「田の倉」にて昼食、その後夢想園で壮大な由布岳を見ながら露天ブロ。帰りは恒例の道の駅「なかつ」での買い物。そして帰路につきました。4期は6名、他期の方6名計12名での小さな旅でした。

8時八幡駅前集合→日田豆田町散策→
田の倉、籐五庵にて昼食→由布院夢想園にて
お風呂→耶馬溪→道の駅なかつ→19時八幡駅



女性専用露天風呂「空海の湯」～約150畳もの広さで由布岳を借景にした景色は最高♪



今年は激変が起こるかもね

梶谷 忠明



夢追塾四期生の皆さん、おめでとうございます。

今年の干支である丙申(ひのえさる)の年は古来より革命の年と言われ、さまざまな混乱が起こる年だそうです。赤下着を身に付ければ良いとも言われています。

何と言っても健康が一番、身体に気をつけましょう。

一月もあつという間に終わりもう二月。今年の参議員選挙から、18歳から選挙権が与えられます。投票率が上がるのか etc 変化を見守っていこうと思っています。

(次回は久保弘明さんをお願いいたします)

Schedule

◎ほのぼのネットワークの総会が「お元気で社会」と兼ねて2月28日(日)、河内温泉あじさいの湯で行われます。帆柱自然公園の山々、木々に囲まれ、散策や温泉につかり、そして大いに近況を語り合いながら、笑いながら益々若返りましょう。多くの人と会えるのを楽しみにしています。急きょ日程調整等都合のついた方、まだまだ連絡を待ってまーす。八幡駅からバスが出ますよ。

連絡は新見 (090-4480-4544) 2月24日まで

◎同窓会の行事

・講演会「健康づくりと介護予防」

3月27日(日)

13:00から15:30

ウェルとばた 多目的ホール

台湾で1カ月遊んできました

松井 敬

長年の夢でしたロングステイを楽しんできました。それも奥方と一緒にです。ロングステイとは長期に外国に滞在して、その土地の文化・風習を楽しみながらゆっくり旅を楽しむことですが、今までツアーでしか外国に行ったことがなく、長時間バスに揺られ観光地を数多く見て廻り、ああ一疲れたなーで終わっていました。そんなことから、定年後はゆっくり長い時間をかけて外国の旅を楽しみたいとひそかに憧れていた旅だったのです。それが実現したのです。



毎日散歩をしてダンスや太極拳をして友好を深めました

昨年の11/4から12/4までの一か月間台湾の台中にあるロングステイ専用の宿舎に泊まり、そこをキーステーションにして、観光地や名所・旧跡、温泉などを回り、なんといっても地元の人と接触しながら習慣や文化を肌で感じられた思い出深い旅でした。

台湾に一ヶ月も何しよったんかね。そんなに見るところがあるの。それが素朴な質問でしょうね。私も当初はそう思って、飽きたら帰ればいいと軽い気持ちで台湾に行ったのでした。ところが一日もヒマでどうしようもないという日はなくアツという間の一ヶ月でした。



旧宮原眼科を改装してすてきなアイスクリーム店に



私たちの部屋

特に今回のロングステイは初心者には好都合で経験豊富なロングステイのベテランが企画されたものに「この指とまれ」で参加しました。従って、全国各地から34名の参加者があり、観光旅行が5日間、宿舎内で中国語講座や太極拳の体験、ピアノコンサートや映写会、タロイモケーキ作り講習会、地元大学生との交流会など、全て無料で参加できたのです。その他に、館内にはトレーニングルームやマージャン室、日本の書籍を集めた図書室、ヨガルームなど長期居住者を楽しませる設備が整っていました。それに私が大満足だったのが30日間寝泊まりした部屋が広くて、寝室とリビングが別々でシャワーと風呂が別があり、自炊ができる用具も整っており、テレビもNHKと民放もあり日本のマンションにいました。

因みに経費は、宿泊代は12万円+光熱費（約8,000円）、飛行機代35,000円/1人、それに現地での食事代や遊び代などがかかりました。（写真参照）

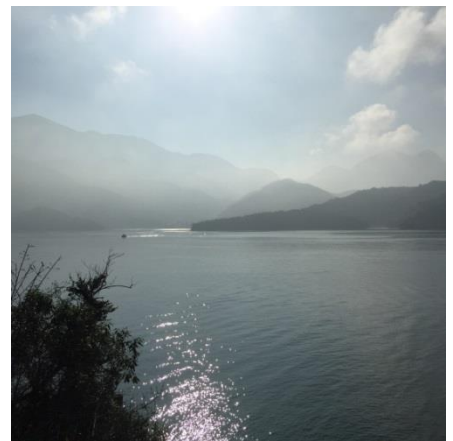
団体でのロングステイとはいえ、現地までは個人で行かなくてはなりません。飛行機のチケット購入から飛行場から宿舎までどのようにして行くのか。自宅の防犯、郵便物の処理、持参する品物はどのくらいいるのか、友人・御近所への連絡など一ヶ月も家を空けて旅をするというのはどんなに大変か事前の準備から違いました。



450 円の B 級グルメ

さて、台湾での生活ですが、日本人に対する温かい眼差しを強く感じたことです。それは、50年に及ぶ日本統治時代に台湾に対して良いことをたくさんしていたのが分かりました。中国や韓国からはこんな声は聞こえてござになんとか暗い気持ちになっていましたが、台湾に対しては搾取せずにもに榮えようとの姿勢が理解され成功したようで、その影響が今も残っていました。特に、連絡して行ったお寺で行われていた戦没者の慰霊祭で、台湾の国歌と一緒に君が代が流れ、涙を流している台湾人を見た時には胸が詰まりました。もう日本にはなくなった光景ですね。

日中はまだ暑く宿舎で過ごし、夕方食事を兼ねた散策が面白かったですね。食事は当初の予想に反して脂っこくなく味も薄く女性に好まれる味付けでした。値段はB級グルメで500円前後ですが、普通のものは日本と同じくらいです。兎に角、この人は外食中心ですから街中は飲食店がいっぱいあり、毎日選ぶのが大変、終わりの頃は自分に合った料理を見つけ、家内とよく行きました。しかし、生もの（刺身類）は北九州の方が断然美味しいですよ。



朝日に輝く「日月潭」



大覺寺の「布袋」さん

街中は、車優先でバイクも多く横断に注意が必要で何度も危険な目に遭いました。しかし、親日家が多く、道を尋ねると自ら案内してくれましたし、バスの車中でもみなさんが親切に教えてくれました。これは、日本が統治していた50年間に地元の人にどれだけよいことをしたのかの証でした。台湾と日本との関わりはこちらに来て分かったことですが、灌漑用水を確保する為に大きなダムを造り農業生産を飛躍的に上げたり、インフラ整備から教育の充実など国造りから日本人が関わっていたことが、ここに来てよく理解することができました。



市場に並んでいました

台湾のおすすめのもう一つが、交通機関が安いことです。特に、市内をくまなく走っているバスは、400円で購入したバスカードを利用すると10キロ以内ならどこでもタダです。それ以上の距離でも65歳以上は半額でした。バスでいろんなところに行き地元の人に助けられながら観光やショッピングを楽しみましたよ。

それともう一つ、34名が同じ宿舎で寝泊まりし観光などで行動を一にしておれば、初めはぎこちない会話がいつしか親しくなり、この人達との交流が深まってきました。

毎日の連絡はメールであるのですが、これがいつしかお誘いのメールやいい店見つけたのに変わり、ご一緒したり、小旅行をしたりとなりました。特に、私は疲れがたまってきた終盤に親しくなったご夫妻と館内のヨガルームで夜8時から簡単なストレッチ体操をやっていたところ、好評を博し参加者が増えなんと10日間連続インストラクターもどきのことをしてしまったのです。



沢山の人出でにぎわう「夜市」



10日間も続いたストレッチ

こんなことは、観光地をスーと観て廻るだけのツアーでは味わえない体験ですね。

当初嫌がっていた奥方も同宿者と卓球やダンス、おしゃべりを楽しみ、食事もおいしくて満足したようでした。まずは、めでたしめでたしというところです。

帰国後もこの余震は続き、忘年会などの集まりでは話題集中、台湾の良いところを勧めていたところ、仲の良い友人が一緒に行こうということになり、今度は先導者としていくようになりました。台湾ではインストラクターもどきを経験しましたが今年は旅のコーディネーターになるのです。更に、今までズボラにやっていたヨガやストレッチも真剣に毎日続けるようになりましたね。

今回の旅は私の中では大きなインパクトとなりました。もっともっと世界中を肌で感じたいという気持ちが大きくなり、それにはどうすればいいのか。もっと勉強しなければならぬと強く感じ新たな目標みたいなものが出来ました。今年は何んなことに挑戦するのか自分も楽しみです。では、またね。



八田興一が造った「鳥山頭ダム」



台南近くの「月世界」